

旧維新一本化見送り

民進代表選支持 双方に推薦人

9月2日告示・15日投開票の民進党代表選を巡り、

蓮舫氏支持

野田前首相グループ

約10人

赤松広隆前衆院副議長グループ

約20人

旧民主党系グループ

約10人

細野豪志元環境相グループ

約15人

旧維新の党グループ

23人

長島昭久元防衛副大臣グループ

約5人

大畠章宏元国土交通相グループ

約15人

前原氏グループ

約25人

前原氏支持

選対会合に3人しか出席せず。一部のリベラル系議員は蓮舫氏支持

双方に推薦人

グループの決定に不満、従わない議員も

党内最大規模の旧維新の党グループ(23人)は30日、東京都内で幹部会合を開き、支持候補の一本化を見送る方針で一致した。前原誠司・元外相、蓮舫氏代表代行双方に推薦人を出す方向で、グループの分裂を回避するための苦肉の策と言えそう。

旧維新グループはこの日、江田憲司代表代行ら幹部が断続的に協議を続けた。グループ内には前原、蓮舫両氏を支持する議員に加え、若手擁立を求める声もあり、調整が難航していた。最終的に、グループとして取りまとめた支援条件の政策集を前原、蓮舫両氏とも受け入れる姿勢を示していることから、双方に推薦人を出す方針だ。31日のグループ会合で正式決定する。旧維新に限らず、他のグループでも結束の乱れが目立つ。前原陣営による29日の選対会合では、自らが率いるグループ(約25人)から3人が出席しただけだった。掛け持ちしている他のグループに気兼ねして、態度を明確にできない議員が多いためだ。実際、前原氏が立つ。前原陣営による29日の選対会合では、自らが率いるグループ(約25人)から3人が出席しただけだった。掛け持ちしている他のグループに気兼ねして、態度を明確にできない議員が多いためだ。実際、前原氏が

立つ。前原陣営による29日の選対会合では、自らが率いるグループ(約25人)から3人が出席しただけだった。掛け持ちしている他のグループに気兼ねして、態度を明確にできない議員が多いためだ。実際、前原氏が

グループに所属する枝野幹事長は29日、代表選の対応について、菅元首相グループにも所属していることを強調した上で、「一切ノーコメント」と述べるにとどめた。

一方、長島昭久・元防衛副大臣は30日夜、東京都内で記者団に出馬見送りを表明。前原氏支持で自らのグループをまとめる方向だ。

これに対し、蓮舫氏支持を表明するグループも足並みがそろっているわけではない。高木義明・元文部科学相ら旧民主党系グループ(約10人)は蓮舫氏支援を決めたが、所属議員の一人は「前原氏支持だ」と明言する。

民進党のグループは、自民党の派閥と異なり、「サークル」と評される。複数グループの掛け持ちが許され、緩やかな集まりにとどまっているからだ。自民党派閥が定期的に開く大規模な政治資金パーティーも、民進党で実施しているのは細野豪志・元環境相のグループ

だけだ。前原、蓮舫両氏はグループの支持決定にこだわらず、各議員を個別に訪ねて支持を求めている。

山尾氏が前原氏支持

民進党の山尾政調会長は30日夜、党代表選で前原誠司・元外相を支持する考えを明らかにした。現執行部で前原氏支持を表明したのは初めて。山尾氏は東京都内で記者団に、「前原氏の社会保障政策に共感した」と語った。